

政令指定都市 犯罪被害者支援施策の実施状況（R5年4月時点）

策定状況等	区分		2 仙台市	宮城県警察・宮城県	1 札幌市	3 さいたま市	5 川崎市	6 横浜市	7 相模原市	8 新潟市
	条例の制定状況	制定	主な論点		平成21年3月31日	令和3年3月	令和3年12月15日	平成30年12月25日	令和5年3月20日	令和4年7月
		施行			平成21年4月1日	令和3年4月1日	令和4年4月1日	平成31年4月1日	令和5年4月1日	令和4年8月1日
		特化条例			×	○	○	○	○	○
支援メニュー	日常生活支援	ヘルパー	□	×	・ヘルパー費用の10割を助成 上限 1時間3,000円×72時間 《R4実績》0人（延べ 時間）	家事・介護費用の助成 ・家事：1,500円/1時間 ・介護：2,300円/1時間 ※1案件につき60時間まで 《R4実績》 ・家事： 0件（延べ 時間） ・介護： 0件（延べ 時間）	家事・介護に係るホームヘルプサービスの利用にかかった費用を助成。 1事件につき60hまで、1時間当たり4,400円の上限あり 《R4実績》1件（延べ9時間）	家事・介護支援 ・ヘルパー利用の9割 ・1時間当たり4,000円を上限、72時間まで 《R4実績》 0人（延べ 0時間）	家事・介護に係るホームヘルプサービスの利用にかかった費用を助成。 1事件につき60hまで、1時間当たり4,400円の上限あり。	—
		配食	□	×	・配食費用の10割を助成 上限 1時間1,000円×60食 《R4実績》0人（延べ 食）	—	配食サービスの利用にかかった費用を助成。 1事件につき30回まで、1回あたり1,000円の上限あり 《R4実績》4人（延べ 8回）	—	配食サービスの利用にかかった費用を助成。 1事件につき30回まで、1回あたり1,000円の上限あり。	—
		保育	□	×	・一時保育費用の10割を助成 上限 子ども1人につき1回3,000円×10回 《R4実績》0人（延べ 回）	1日2,500円 上限1日8時間で10日まで 《R4実績》 0件（延べ 時間）	【一時保育】 1事件につき10日まで、1人につき1日当たり2,900円の上限 【一時預かり】 1事件につき10日まで、1人につき1日当たり9,000円の上限 《R4実績》 両制度なし	・一時保育費用の9割 ・1回2,500円上限10回 《R4実績》 対象児 0人（延べ 0回）	【一時保育】 1事件につき10日まで、1人につき1日当たり3,000円の上限 【一時預かり】 1事件につき10日まで、1人につき1日当たり7,200円の上限	—
		教育支援	□	×	—	—	教育関係費を助成 1事件につき48,000円を上限 《R4実績》 件	—	—	—
		就労支援	—	×	—	—	—	—	—	—
	精神面支援		□	○	【精神医療費支援】 ・医療提供施設に支払った一部負担金の実費額（1年間12日分） 《R4実績》3人（延べ24日） 【カウンセリング】 10割助成、1回1万円を上限として1年間12回分 《R4実績》1人（延べ9日）	精神医療・カウンセリング費用の助成 上限150,000円 《R4実績》 0人（延べ 回）	犯罪被害者支援に精通したカウンセラーによる無料のカウンセリングを実施 《R4実績》 人（延べ 回）	1案件10回までのカウンセリングを無料で提供 《R4実績》 22人（延べ 93回）	—	【カウンセリング費用の助成】 ・限度額：15万円 《R4実績》0人
	住居支援	転居支援	□	×	【転居費用】 上限20万円、1回まで 《R4実績》10回 【家賃助成】 転居後の家賃1月3万円を上限として12月分まで 《R4実績》2件（延べ17月分）	【転居費用】 20万円を上限とし1回まで 《R4実績》 0件	新たな住居に転居するためにかかった費用を助成 《R4実績》 件	1回あたり20万円を上限として2回まで 《R4実績》 7件	1回あたり20万円を上限として2回まで。	居費用助成金 上限20万円 《R4実績》0件
		住居復旧	□	○	・ハウスクリーニング 上限30万円 《R4実績》0件	—	—	—	—	—
		市営住宅	市営住宅入居の際における抽選の優遇措置 《R4実績》 1件	×	—	市営住宅目的外使用 《R4実績》 0件	市営住宅の一時利用 《R4実績》 件	市営住宅目的外使用 《R4実績》 3件	市営住宅目的外使用、優先入居	市営住宅の抽選の優遇 犯罪被害者等には抽選札を2枚配布、DV被害を受けている方には抽選札を3枚配布し、優先的な取り扱いを行う 《R4実績》11件（DV被害のみ）
		緊急避難	□	○	—	一時避難費用助成 1人1泊当たり6,000円（7泊まで） 《R4実績》 0人（延べ 泊）	神奈川県の実施する緊急避難場所の利用者に対し、延泊を実施	県の制度利用者に延泊2泊分まで 《R4実績》 1件（延べ 2泊）	神奈川県の実施する緊急避難場所の利用者に対し、2泊まで延泊を実施。	—
	経済的負担の軽減（見舞金）	遺族	□	×	支援金 30万円 《R4実績》2件	支援金 30万円 《R4実績》 1件	30万円 《R4実績》 件	30万円 《R4実績》 3件 R4年度より名称を「遺族支援金」に変更	遺族支援金 30万円	30万円 ※R3.9.1～ 《R4実績》0件
		重傷病	□	×	支援金 10万円 《R4実績》48件	支援金 10万円 《R4実績》 0件	10万円 《R4実績》 3件	10万円 《R4実績》 8件 R4年度より名称を「重傷病支援金」に変更	重症病支援金 10万円（入院3日以上） 5万円（入院要件なし）	10万円 ※R3.9.1～ 《R4実績》1件
		性犯罪	□	×	支援金 10万円 《R4実績》13件	支援金 10万円 《R4実績》 2件	10万円 《R4実績》 4件	5万円 《R4実績》 15件 強制わいせつ罪も対象とする。強制性交等罪（未遂罪を含む）の被害者への支援金は10万円に増額。強制わいせつ罪の被害者には5万円を支給	性犯罪被害支援金 10万円（強制性交等） 5万円（強制わいせつ等）	—
		損害賠償援助	—	×	—	—	—	—	—	—
	法律相談		—	×	—	1案件2回まで無料 ※1h/回の制限あり 《R4実績》 1件（延べ 1回）	犯罪被害者支援に精通した弁護士による無料の法律相談を実施 《R4実績》 1件（延べ 1回）	1案件2回まで無料 《R4実績》 13人（延べ 15回）	—	—
	その他		□		【犯罪行為に関する情報の提供を公衆に求める費用】 【犯罪被害に係る裁判を傍聴する費用】 ・1年につき、合計10万円を上限、犯罪発生時から5年間まで	—	—	—	○加算支援金 家事等の日常生活支援を希望しない場合は支援金に5万円を加算する。 ○自立支援医療（精神通院医療）の助成 自立支援医療（精神通院医療）を利用する場合の自己負担（1割分）を助成する。 →1回の受診当たり2,000円を上限に、年24回、初診日から3年間	

※実績が空欄のものは、各都市が未回答であったもの

政令指定都市 犯罪被害者

策定状況等	区分		10 浜松市	11 名古屋市の	12 京都市	13 大阪市	14 堺市	15 神戸市	16 岡山市	17 広島市
	条例の制定状況	制定	令和4年4月1日	平成30年3月28日	平成23年3月		平成25年3月19日	平成25年3月29日	平成22年12月20日	令和4年3月18日
		施行	令和4年4月1日	平成30年4月1日	平成23年4月	令和2年4月	平成25年4月1日	平成25年4月1日(※平成30年7月1日一部改正)	平成23年4月1日	令和4年4月1日
支援メニュー	特化条例		○	○	○	○	○	○	○	○
	日常生活支援	ヘルパー	—	事業者と協定締結し、以下の単価で委託 ・生活援助2,460円（税別）／1h ・身体介護4,350円（税別）／1h（R4実績） ・生活援助： 0件（延べ 0 h） ・身体介護： 0件（延べ 0 h）	ホームヘルプサービス（家事援助及び介護援助）利用に係る費用の一部を給付 3,000円/h × 25h （R4実績） 0件（延べ h）	ホームヘルプサービス 1回（3時間以内）／日、合計96時間まで （R4実績）0件（延べ-時間）	ホームヘルプサービス ・1時間/日、25時間以内 ・犯罪被害の発生した日又は犯罪行為が発覚した日から1年間（R4実績） 0人（延べ 0時間）	家事援助費の助成 ・実費額 ・上限1時間3,000円、25時間以内（R4実績） 0件（延べ 0時間）	—	家事・介護費用助成 家事：限度額1時間当たり2,300円 介護：限度額1時間当たり3,200円 ※ 1事件につき80時間まで（R4.4.1開始） （R4実績） 家事： 0件 介護： 0件
		配食	—	事業者と協定締結し、以下の単価で委託（消費税込み） ・上限1,000円（送料200、弁当代800） 1回/日 合計30日まで（R4実績） 2件（9人）59回	—	配食サービス 1回/日、合計30日まで（R4実績）0人（延べ 食）	・1回/日、1人あたり25食以内 ・犯罪行為日から起算して90日以内 ・犯罪被害の発生した日又は犯罪行為が発覚した日から90日間（R4実績）0人（延べ 0食）	配食サービス費の助成 ・上限1,000円/人・日、1日1食30日以内（R4実績） 0人（延べ 0食）	—	—
		保育	—	※ホームヘルプサービスは、乳幼児及び小学校に就学中の児童の保育にも対応可能	一時預かり保育サービス利用に係る費用の一部を助成 上限2,500円/日(10回まで）（R4実績） 0人（延べ 回）	一時保育費の助成 （3,000円/回 合計10回まで）（R4実績）0人（延べ 回）		一時保育費の助成 ・実費額 ・上限1日3,000円に一時保育を利用した子供の人数を乗じて得た額、5日以内（R4実績） 0人（延べ 0日）	—	一時保育費用助成 限度額1日当たり3,000円 1事件につき未就学児1人当たり14日まで（R4.4.1開始） （R4実績） 0人
		教育支援	—		—	—	—	家庭教師、通学時送迎の助成 ・実費額 ・上限5万円/子1人（R4実績） 0件 奨学金の返還支援 ・実費の2分の1 ・30万円/年、合計150万円まで（R4実績） 0件	—	—
		就労支援	—	—	—	—	—	就労準備金の助成（資格等取得費用） ・実費額 ・上限10万円（R4実績） 0件	—	—
	精神面支援		精神保健福祉センターにて相談の受付（R4実績）0人（延べ 回）	【精神医療費支援】 精神医療に係る自己負担額の1/2（初診から1か月以内）（R4実績） 3人（延べ -回）	京都犯罪被害者支援センターが相談を受けた犯罪被害者等のうち、精神科等を受診した場合に、自己負担額の半額を助成する。上限5,000円/回（3回まで）（R4実績） 2人（延べ6回）	精神医療費の助成 （5,000円/回 合計24回まで）（R4実績） 3人（延べ28回）	臨床心理士等の資格を持つカウンセラーによる無料カウンセリング（上限6回、犯罪発生日より3年間）（R4実績）0人（延べ 0回）	臨床心理士による無料カウンセリング ・1事件につき上限10回 ※ひょうご被害者支援センターにカウンセリングを委託（R4実績） 10人（延べ32回）	—	—
	住居支援	転居支援	転居費用助成金 上限20万円（R4実績） 0件	—	—	転居費の助成（20万円/回 1回まで） （R4実績） 3件 一時的居住確保費用の助成（7,500円/泊 25泊まで）（R4実績） 0件	—	緊急転居費の助成 ・実費 ・1回上限20万円/回、2回まで（R4実績）0件（延べ0回） 家賃助成 ・実費額・上限3万円/月、入居1年以内（R4実績） 1世帯 住宅復旧及び防犯対策費の助成 ・実費額 ・上限30万円（R4実績） 0件（延べ 0時間）	期間を定めて市営住宅の目的外使用を認める。 （R4実績）0件	転居費用助成 1事件につき20万円まで（転居の回数は問わない） （R4.4.1開始） （R4実績） 0件
		住居復旧	—	—	—	—	—		—	—
		市営住宅	市営住宅の優先入居 募集抽選の当選確率を2倍とする（R4実績） 0件	市営住宅の優先入居、一時的な提供（R4実績） 2件	市営住宅の優先入居（R4実績） 0件	市営住宅の優先入居（R4実績）0件	—	目的外使用（1年間家賃免除）（R4実績） 0件 優先入居（当選倍率優遇）（R4実績）（申込数）2件（※当選0） 優先入居（ポイント加算）（R4実績）（申込数）7件（※当選0）	市営住宅の優先入居（R4実績）0件	①入居要件の緩和 ②入居抽選時の優遇 ③目的外使用許可による一時的な提供（R4実績）① 1件 ② 2 5件 ③ 5件 （※ DV 事案のみの場合も含む。）
		緊急避難	避難施設利用助成金（R5新設） 1人1泊あたり7,000円上限最大3泊まで 当該避難を受け入れた施設に助成	【一時避難費用助成】 警察の制度利用者に延泊6泊分まで（R4実績） 1件（延べ6泊）	一時避難 1日に2,000円の補助金を施設へ交付（R4実績）0件	—	一時避難住宅の提供 ・使用開始日から3か月以内 ・使用料は無料、光熱水費等の実費はご本人負担（R4実績） 0件	一時避難に係る費用の助成 ・警察の制度利用者に延泊7泊分まで ・上限7千円/1泊・1人（R4実績） 0件	—	—
経済的負担の軽減（見舞金）	遺族	遺族	60万円（R4実績） 0件	支援金30万円（R4実績） 2件	生活資金の給付 ※当座の生活に困窮する犯罪被害者等に対して申請に基づき一律30万円を給付する。（R4実績）3件	30万円（所得制限なし）（R4実績） 5件	遺族支援金 一事件につき30万円	50万円（R4実績） 0件	遺族支援金 30万円（R4実績）1件	見舞金30万円（R3.4.1開始） （R4実績） 0件
		重傷病	20万円（R4実績） 0件	支援金10万円（R4実績） 4件		10万円（所得制限なし）（R4実績） 5件	重傷病支援金 一事件につき10万円	15万円（R4実績） 9件	重傷病支援金 10万円（R4実績）4件	見舞金10万円（R3.4.1開始） （R4実績） 6件
		性犯罪	10万円（R4実績） 2件	—		10万円（所得制限なし）（R4実績） 7件	性犯罪被害支援金 一事件につき10万円	15万円（R4実績） 6件		—
	損害賠償援助	損害賠償援助	—	遺族が損害賠償請求に基づく債務名義を取得したにも関わらず、約定通りに賠償が受けられない場合に150万円を上限に支給（R4実績） 0件			—	—	—	—
		法律相談	—	—	—	法律相談（1時間30分/回 合計2回まで）（R4実績）0件（延べ 回）	—	—	—	—
	その他		—	—	京都市内で犯罪被害を受けた観光旅行者や滞在者のために、総合相談窓口における相談において、必要に応じて通訳派遣を行う。	【被害発生初期段階におけるアウトリーチ支援】 関係機関より、被害者等に関する情報提供の連絡を受けた場合は、本市から被害者等に対して初期支援を行う。	—	【裁判手続き（傍聴含）に係る旅費の補助】 裁判期日に裁判に出席（傍聴含）する場合に係る交通費を助成（上限10万円、刑事・民事別） 【プライバシー保護】 プライバシー保護のため区役所等で手続き専用スペースの確保	—	・直接支援や支援活動員の養成・研修、広報啓発等、支援センターの事業全体に対して負担金（590千円）を交付している。 ・支援希望があった場合は庁内他課と連携しながら処理をし、総合相談窓口に相談があった際は支援センターへの橋渡しを行っている。

※実績が空欄のものは、各都市が未回答であったもの